



不安定な天候の中楽しんだ癒しの沢

奥利根 檜俣川へイズル沢～アリキノ沢

坂村

【日時】 2013年7月13日（土）～ 7月14日（日）

【メンバー】 L佐貫、木下、田村、長谷川、坂村

もともこの三連休は矢木沢川の予定だった。しかし、天気傾向がどんどん悪くなったため、転進案を考える必要があった。①ルートの短縮ができること ②登山道に逃げられること ③午後の雷雨が懸念されるようであれば午前中だけで遡行を打ち切ってビパーク地を探すことができること。これらを総合的に考えたリーダーから、へイズル沢を遡行し、洗ノ沢を下降する案が出された。もちろん全員異論はない。

7月13日（土）曇りときどき雨

前泊は、木下さんのお知り合いの別荘にお世話になることができた。天気を懸念した木下さんが気を利かせて使わせていただけるようお願いしてくださっていた。



花崗岩の岩肌が美しい

朝4時に起きて支度を始めようとする、タイミングを見計らったように急に豪雨となった。

そんな中出掛ける気には到底ならないので、皆でゆっくり二度寝を楽しむ。小雨になった頃、のろのろと起き、のろのろと支度をしてようやく出掛ける。それができたのも、それをもよい計画だったため。時

間的なことはなんとでもなるように考えたリーダーと、ダラダラと時間を潰す環境を手配してくださったサブリーダーに脱帽した。

10:30に檜俣林道入口ゲート付近に車で到着する。相変わらず曇り、小雨、ときどきザツと降るといった天候。明日は天気回復の見込みなので、なんとか負けずに出発する。

檜俣林道は途中道が崩壊している。昔は奥のゲートまで車が入れたそう。平凡な林道歩きは2時間我慢しなければならぬし、途中には緩く長い下り坂もある。敗退なんかでこの道に戻ってることがありませんように。

13:15入渓。水は濁りがなく澄んで美しい。増水もしていないようだ。ゴーロを少し行くと、ゴルジュとなる。出口に2mと3mの2段の滝がかかっている、左岸側からまとめて巻く。それを抜けると、花崗岩でできた白く美しい岩肌の、明るく開けた様相となる。この頃になると少し太陽が顔を覗かせることもあったので、沢の美しさがいっそう際立った。



微妙なバランスが必要な4m滝の側壁

暫く行くと、大きな釜を持つ

8mの滝が現れる。これは左岸側が簡単に通過できる。その後左手に沢を確認すると、3段計9mの滝、3段計20mの滝と続く。通過は容易だ。右からの沢に20mの滝が架かっていることを確認し、歩を進める。やがてミニ・ゴルジュとなり、出口に4mの滝が架かっていた。この滝は深く大きな釜を持ち、流れ落ちる水量も多かったため左岸側の側壁を登ることになった。側壁は少し内側に傾斜していて、登るのに微妙なバランスを必要とした。木下さんが突破後お助け紐で全員登ることになったが、それでも荷上げをして空身にならなければ難しかった。

その後、小滝やナメの快適な遡行となる。右手の7mの滝を架ける沢を過ぎたら20mの滝が現れた。これを越えるにはどうしたらよいかとキョロキョロ辺りを見回していたら、佐貫さんが少し戻れば巻きに程よい斜面があったと言った。遠目に滝が見えてから近くに来るまでに周囲を観察しながら歩いていたのか。すごいなあ。

その後、快適に登れるナメ滝と美しいナメを過ぎると、逆「くの字」トイ状の滝が見え、二俣となったので、少し戻って本日の幕場を求めた。

7月14日（日）雨のち曇り

夜の間は雨に降られることはなかったのに、出発前になるとザーッと雨が降り始めた。これには全員がっかり。それでも少し待つと小雨に変わったので、なんとかモチベーションを上げ直して出発することにする。といってもやはり天候不順。当初予定の左沢はやめて、短くて直接笠ヶ岳に突き上げるアリキノ沢を遡行することになった。

アリキノ沢は登れる小滝が連続する。ヘイズル沢と違って少しぬめっているので、アクアステルス履いて昨日と同じように歩いていると時々滑った。また、岩のもろい滝もあり、



一瞬の雲の切れ間からならまた湖が見えた

うかつに掴んだ岩が剥がれて私が数十センチ落ちるなんて場面もあった。

雨が降ったりやんだり、一瞬薄日が差したり、とにかく不安定な天気だ。やがて水が枯れ、ゴーロとなる。稜線が近くなってくると気温低下と風とで寒くて震えがくるほどだったが、脇に咲く可憐な花々が今は夏だと教えてくれる。露岩と草付の斜面を登り稜線に出ると、笠ヶ岳山

頂までわずかだ。山頂はガスの中で、風もいっそう強かったので、集合写真を撮ったらさっさと登山道を下った。

予定では途中で洗ノ沢に入り、もう一泊するはずだったが、翌日の天気期待ができないため、そのまま下山し、またしても木下さんのお知り合いの別荘に泊まらせていただいた。

夜はザーザーと雨の音がして、翌日の稜線は黒い雲のまっただ中。嫌な思いをすることなく無事に遡行できたのは、様々な気象条件を考慮して練られた計画のおかげだ。

【グレード】2級

【地図】藤原、至仏山

【行程】

- 7/13 檜俣林道ゲート (11:00) ~ ヘイズル沢出合 (13:15) ~ 二俣 (15:45) ~ 幕場 (15:50)
- 7/14 幕場 (5:45) ~ アリキノ沢奥の二俣 (7:25) ~ 笠ヶ岳 (9:50)

